

東京都精度管理評価事業における胃がん検診受診率算出方法
平成 28 年度の取扱いについて

「がん予防重点健康教育及びがん健診実施のための指針の一部改正について」（平成 28 年 2 月 4 日付健発 0204 第 13 号）により、胃がん検診の実施回数が「2 年に 1 回」に変更になったことから、平成 29 年 9 月 28 日付事務連絡「東京都精度管理評価事業における胃がん検診受診率の算出方法の変更について」により、東京都精度管理評価事業における胃がん検診受診率の算出方法の変更を周知した。

しかしながら、平成 28 年度検診実施分の受診率の算出については、2 年連続受診者の前年度数に平成 27 年度の内視鏡検診受診者は含まないため、以下のとおりとする。

平成 28 年度検診実施分

$$\text{受診率} = \frac{\text{平成 27 年度胃 X 線} + \text{平成 28 年度胃 X 線} - \text{平成 27 \& 28 年度連続受診者}}{\text{平成 28 年度胃内視鏡}} \times 100$$

住民基本台帳人口 × 対象人口率

※ 2 年連続受診者とは、「平成 27 年及び平成 28 年に胃部 X 線を受診した者」又は「平成 27 年に胃部 X 線を受診し、平成 28 年には内視鏡を受診した者」をいう。
※ 受診率の算定においては、受診者、対象者はいずれも 50 歳以上とする。

< 参考 > 平成 29 年度以降検診実施分

$$\text{受診率} = \frac{\text{平成 28 年度胃 X 線} + \text{平成 29 年度胃 X 線} - \text{平成 28 \& 29 年度連続受診者}}{\text{平成 28 年度胃内視鏡} + \text{平成 29 年度胃内視鏡}} \times 100$$

住民基本台帳人口 × 対象人口率

※ 2 年連続受診者とは、胃部 X 線 2 年連続、胃内視鏡 2 年連続、胃部 X 線と内視鏡 1 回ずつ連続受診した者をいう。
※ 受診率の算定においては、受診者、対象者はいずれも 50 歳以上とする。